

2012年3月期 第3四半期 決算説明資料



Tera Probe

<http://www.teraprobe.com/>

今回の発表の概要

3Q/FY2011実績

<メモリ事業>

主要顧客の生産調整による厳しい環境下、製品の微細化シフトにより一時的に受託量が増加。売上高、営業利益ともおおむね予想通り。

<システムLSI事業>

10月よりウエハレベルパッケージ(WLP)の受託生産を行うテラミクロス社を新たに連結子会社化したことにより、売上高は増加。

既存のテスト受託では、タイの洪水やデジタル家電の販売低迷などの環境悪化と、新規受託予定製品の立ち上がりの遅れも影響し、売上高、営業利益とも予想を下回る。

通期見込み

4Qにおける経済環境、業界環境は予断を許さない状況が継続しているため、収益予想は据え置き。

また、現時点でテラミクロス社の資産評価が確定していないことから、今後業績予想が変更になる可能性がある。

(状況が確定した時点で必要に応じて適時開示する)

2011年度第3四半期 実績

(億円)

		第3四半期連結累計期間実績			四半期連結会計期間実績		
		3Q/FY2010	3Q/FY2011	YoY増減	2Q/FY2011	3Q/FY2011	QoQ増減
	メモリ	143.8	151.4	5%	48.4	48.9	1%
	システムLSI	13.2	29.0	120%	5.1	18.5	263%
	その他	-0.2	-0.7	—	-0.3	-0.5	—
売上高		156.8	179.7	15%	53.1	66.9	26%
	メモリ	52.5	39.9	-24%	10.5	12.1	16%
	システムLSI	-6.3	-6.4	—	-2.2	-2.8	—
	その他	-7.6	-9.2	—	-2.9	-3.6	—
営業利益		38.6	24.3	-37%	5.5	5.8	6%
営業利益率		25%	14%	—	10%	9%	—
当期純利益		25.9	13.3	-49%	2.6	3.5	36%
当期純利益率		17%	7%	—	5%	5%	—

※3Q/FY2011よりシステムLSI事業にWLP事業が含まれております

第3四半期実績増減分析(売上高)

3Q累計実績(YoY)

<メモリ事業>

- ・テスト時間の長いメモリ製品の比率増加等により8億円増

<システムLSI事業>

- ・WLP事業の開始、アナログ製品の受託増加等により16億円増

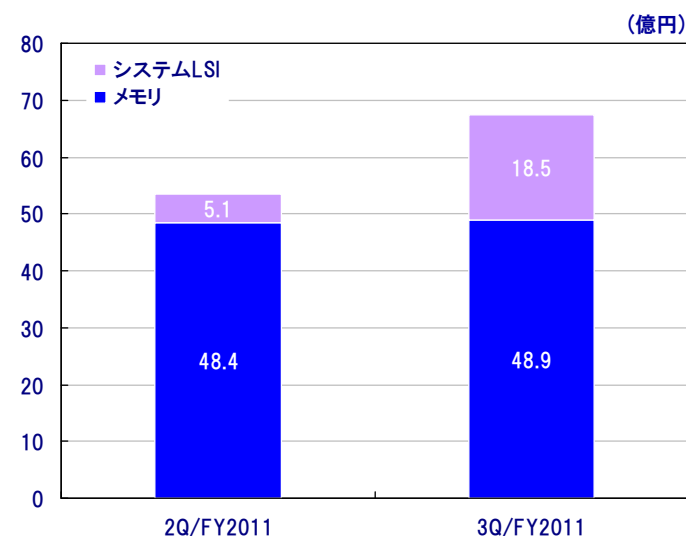
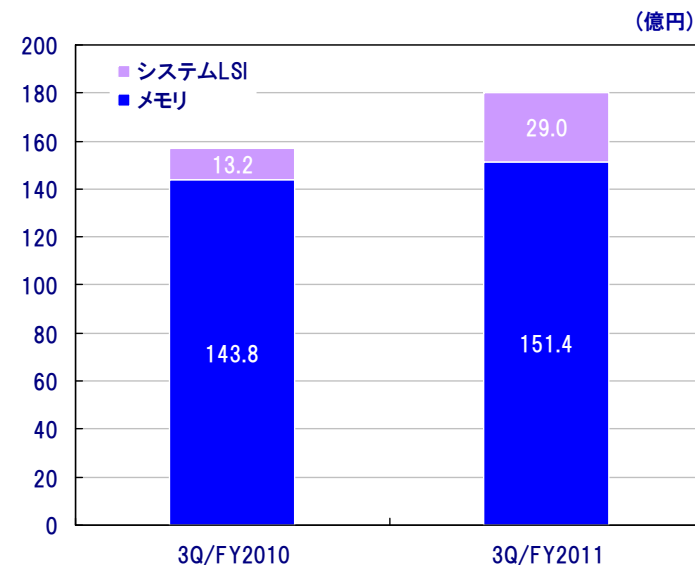
3Q実績(QoQ)

<メモリ事業>

- ・顧客の生産調整はあったものの、微細プロセスへのシフト等により横ばい

<システムLSI事業>

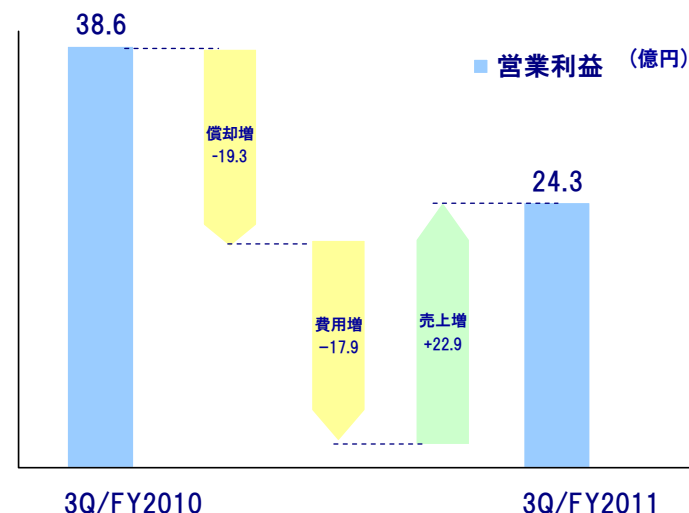
- ・WLP事業の開始等により13億円増



第3四半期実績増減分析(営業利益)

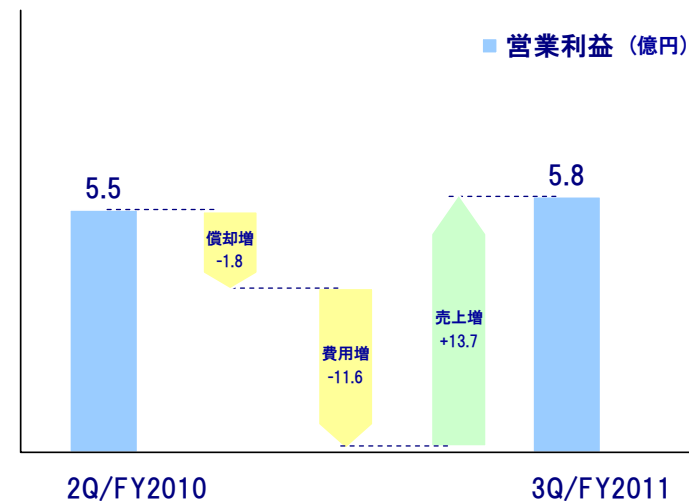
3Q累計実績(YoY)

- ・テスト時間の長いメモリ製品の比率増加及びWLP事業の開始等により売上23億円増
- ・WLP事業の開始および前年度の設備投資による償却費増加等により費用37億円増



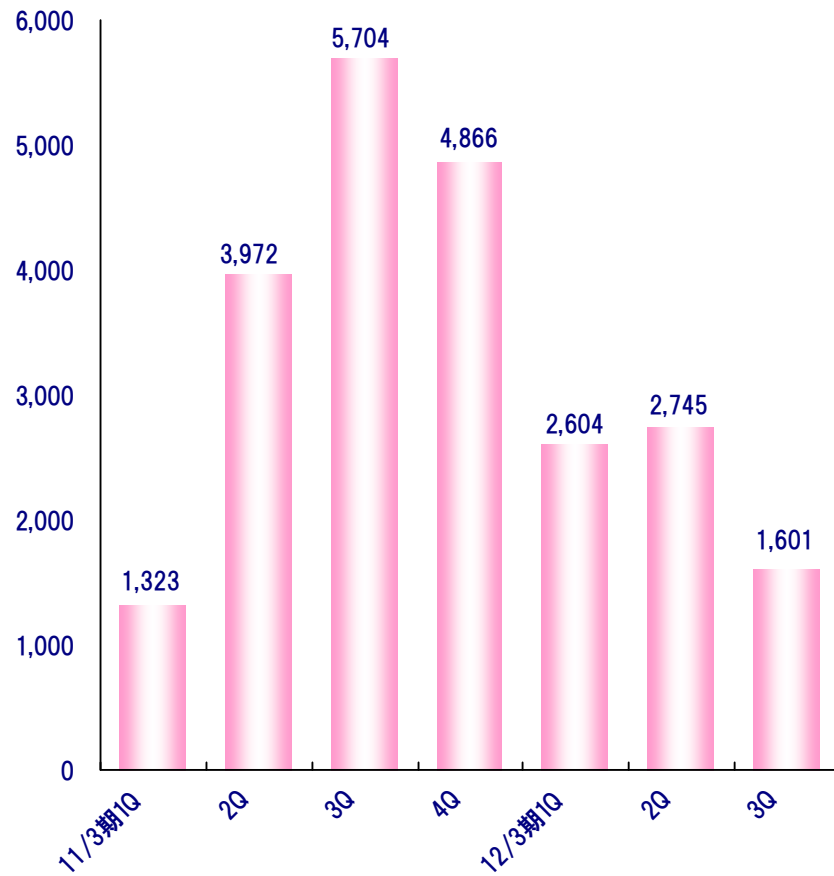
3Q実績(QoQ)

- ・WLP事業の開始等により売上14億円増
- ・WLP事業の開始および償却費増等により費用13億円増

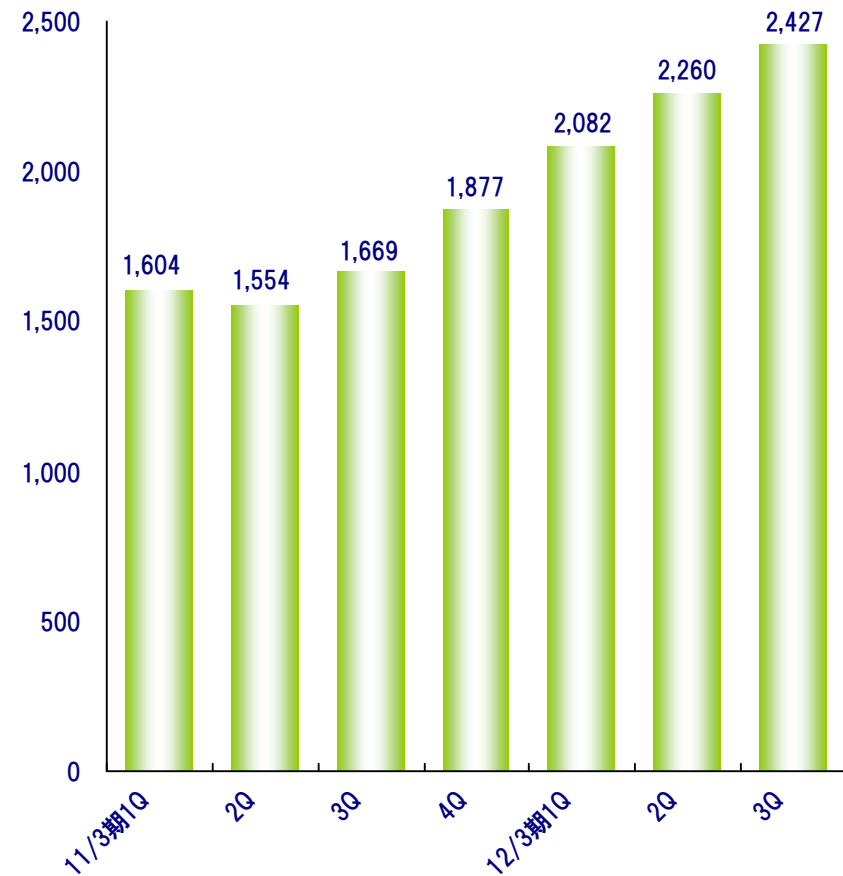


設備投資及び減価償却

設備投資額推移



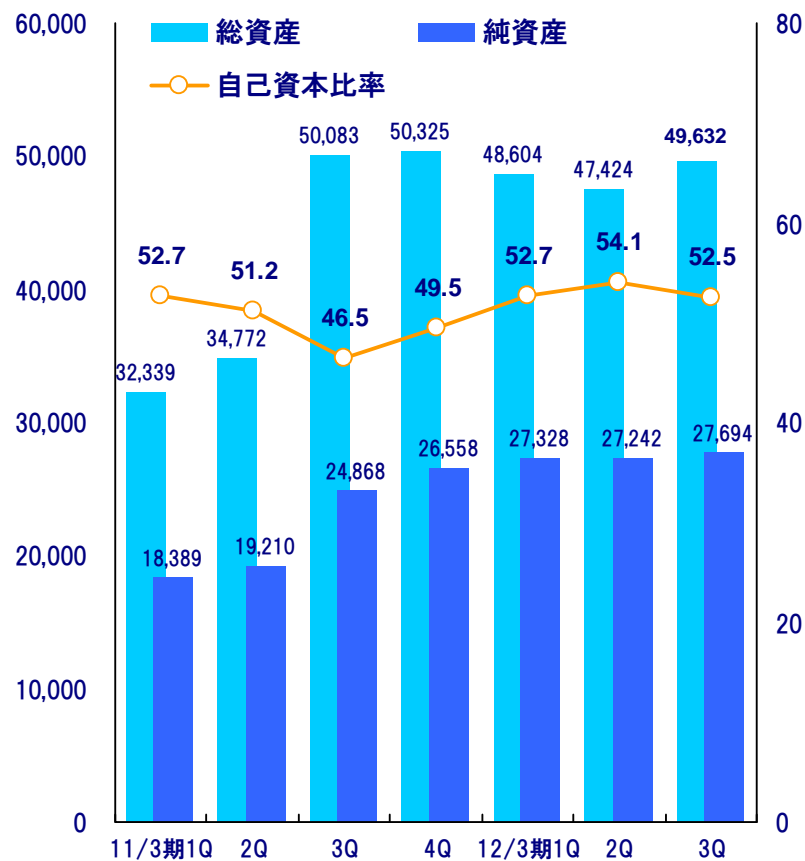
減価償却費推移



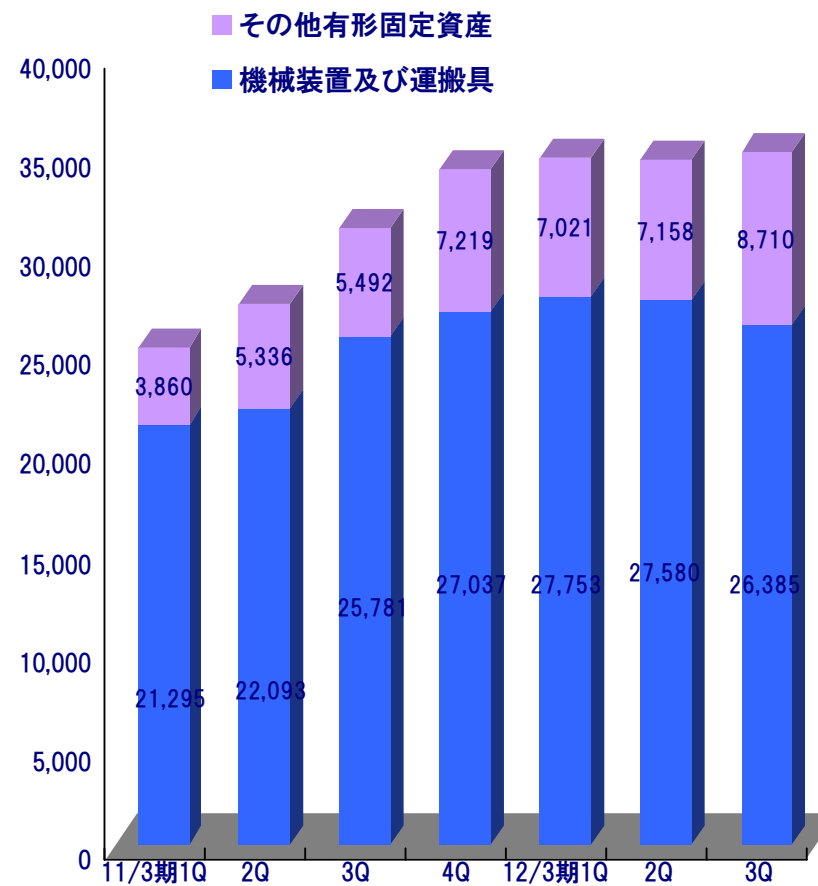
単位:百万円

財務状況①

総資産・純資産・自己資本比率



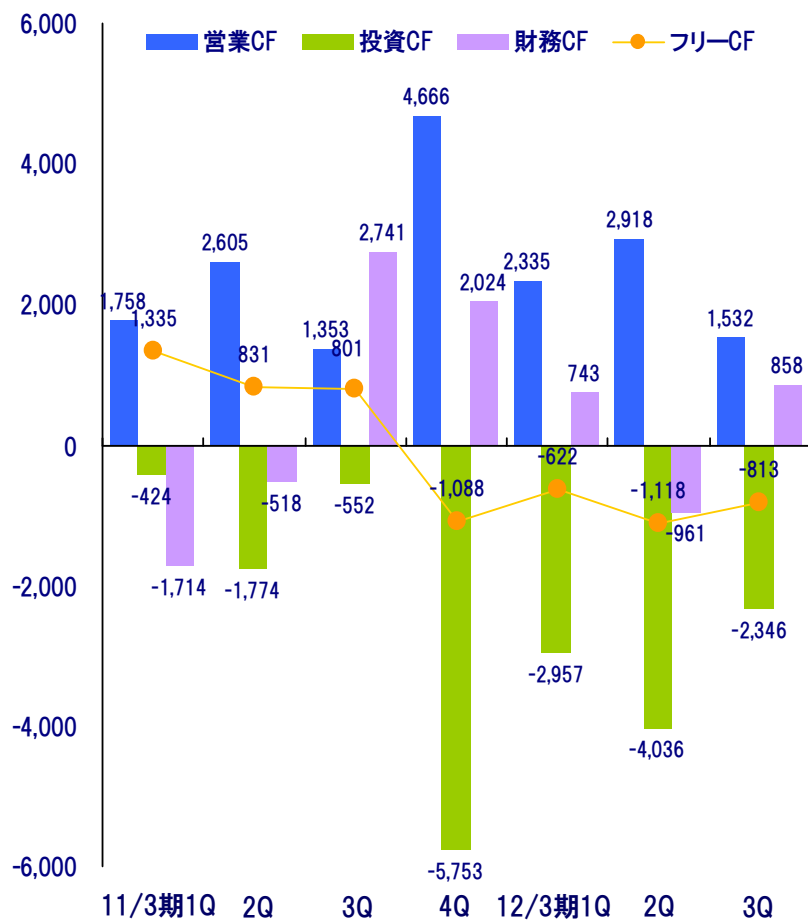
有形固定資産の推移



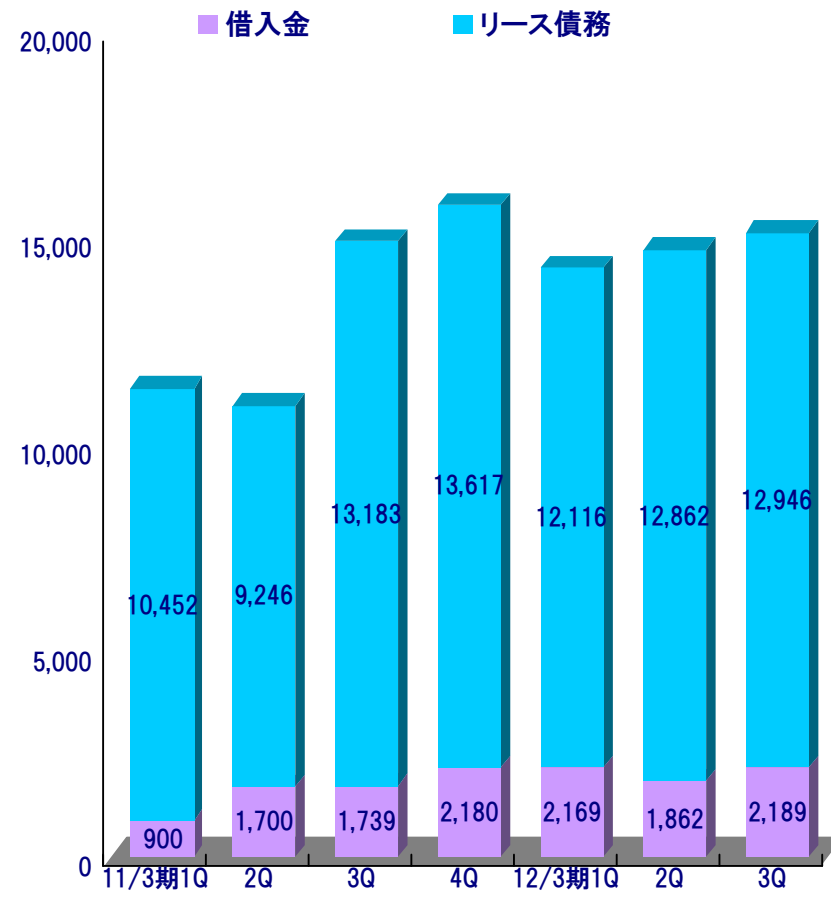
単位:百万円

財務状況②

キャッシュ・フロー



借入金・リース債務残高



単位:百万円

本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ(以下、弊社)の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が作成する「平成24年3月期第3四半期決算短信」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ
コーポレートプランニング・IR部門
TEL (045)476-5711
URL <http://www.teraprobe.com>